

# 事務事業チェックシート

事務事業No 293 事業名 里親助成事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	3	子育て支援の充実
施策	1	子育て支援の充実
基本方針	4	保護・援助を必要とする子どもへの支援

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標	
政策	
施策	

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	児童福祉法		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	こども総合支援センター	森 賀孝 (402-7830)	
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		児童福祉費	
	目		児童福祉総務費	
	大事業		児童福祉総務事業	
事項		里親助成事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

### 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	和歌山市里親会の連携強化及び里親制度の普及をめざす。	里親制度の普及啓発等				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		・和歌山市里親会の活動推進を図るための助成を実施 ・里親制度の普及啓発及び周知 ・里親会総会への参加	・和歌山市里親会の活動推進を図るための助成を実施 ・里親制度の普及啓発及び周知 ・里親会総会への参加	・里親制度の普及啓発及び周知 ・里親会総会への参加	・里親制度の普及啓発及び周知 ・里親会総会への参加	・里親制度の普及啓発及び周知 ・里親会総会への参加

### 2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費等 千円	事業費	20	20	20	20	20	0	0	0	0	
	伸び率 (%)	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	-100.0%	-	-	-	
	人件費	常勤職員	1,838	1,435	1,449	2,186	2,186	0	0	0	0
		非常勤職員	0	81	81	69	69	0	0	0	0
		小計	1,838	1,516	1,530	2,255	2,255	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源(税等)	20	20	20	20	20	0	0	0	0	0
所要人数	常勤職員	0.25	0.19	0.19	0.29	0.19	0	0	0	0	
	非常勤職員	0.00	0.04	0.04	0.03	0.03	0	0	0	0	
主な予算内訳											

### 3 目標及び実績

	指標名及び達成状況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			年度目標値	実績値	年度別達成度	年度別達成度	年度別達成度	
活動指標	普及啓発実施回数（ポスター貼付、チラシの配布、講演会等の実施）	年度目標値	5	5	5	5	5	
		実績値	4	4	3			
	単位	回	全体目標値	1	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	
成果指標	和歌山市里親会登録の里親数	年度目標値	4	4	4	10	10	
		実績値	4	4	4			
	単位	組	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止	○			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市里親会の運営のための助成は必要ないので、今後和歌山市里親会への助成は行わない。
「見直し」 「改善」案	里親制度の啓発のための事業を、要保護児童対策地域協議会事業の啓発事業とする。